

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)1月8日
所属名:高島農産普及課
番号:H24022
発信者名:三溝、山下



(農)マキノ町果樹生産組合を対象にブドウ栽培研修会を計5回開催

農事組合法人マキノ町果樹生産組合の収益性向上を目指して、重要な品目であるブドウについて基本的な栽培技術の実施時期ごとに研修会を計5回開催しました。10名の参加者は研修で学んだ内容を実践され、その結果、果実品質の向上につなげることができました。

農事組合法人マキノ町果樹生産組合は、ブドウ約1haをはじめ観光果樹園を約48ha栽培され、マキノピックランドを支える重要な担い手です。しかし、植栽後20年以上経過した樹が多くなり、収量および品質が低下し始めていることから、組合員の栽培技術力の向上が改めて必要となっていました。

そこで、収益性が高く、観光収入の主力であるブドウについて、「芽かき」、「誘引・捻枝」、「房づくり」、「摘粒」、「剪定」と、基本的な栽培技術ごとに計5回研修会を開催しました。研修会はいずれも、資料を用いて、その栽培管理の目的や方法を説明した後、現場で実演し、参加者全員に実際に作業してもらうことで、理解を深めていただきました。

また、栽培技術力が向上しているか把握するため、マキノピックランド支配人と相談し、ブドウの一部を列ごとに参加者が摘粒を行い、収穫時期にブドウ房を確認したところ、昨年度より果実品質は向上しました。

農事組合法人マキノ町果樹生産組合は、来年3月に、新たに24aブドウを拡大される予定であり、より一層栽培技術力の向上や作業の効率化が求められます。引き続き当課は、収益向上を目標に支援してまいります。



芽かき研修会



ブドウの確認



剪定研修会